

# さくら わた 「桜の渡し」とその後～八ヶ郷堰の足あと～



こうちようせんせい こ あさ  
校長先生と子どもたちが朝のあい

か こうもんふきん しせき さくら  
さつを交わす校門付近には史跡「桜

わた かんばん はっか ごうぜき の ひ  
の渡し」の看板と「八ヶ郷堰之碑」

があります。

# 1. 史跡「桜の渡し」について

## 史跡「桜の渡し」

今から約三百年位昔、（元和八年・一六二〇年頃）山形城主鳥居忠政が馬見ヶ崎川がはんらんして大ぜいの人が困つていたので、川の流れを東原町の東岸でせきとめ、流れを変えました。その頃の馬見ヶ崎川は、旧県庁前から、小橋・下条・皆川町江俣・陣場南を流れ、ここ小学校の北を新田・吉野宿南を鮎洗にむかい須川に注ぎました。

江俣沼・陣場沼は、その跡でした。その須川に橋がないので舟で渡りました。今たつているところが、その船つき場で、太い桜の木があつたので、誰いうとなく「桜の渡し」というようになつた。その頃、大ぜいの人々が舟で渡つたことでしょう。

また、最上時代、山形城と中野城の武士たちが、この川をはさんでいくさをした戦場でもある。と伝えられています。

ここに植えてある桜は二世で、金井小学校創立七十七周年記念日に、記念として植樹したのです。

昭和五十二年十一月一日

山形市立金井小学校

創立七十七年記念

（文責 熊谷林太郎）

## 2. 「八ヶ郷堰之碑」について



八ヶ郷堰は、金井地区を流れる用水路である。この堰をかんがい用水に利用してきた  
集落が江俣・陣場・内表・陣場新田・吉野宿・中野・船町の八か所であったことから、  
八ヶ郷堰と名づけられた。

記念誌「八ヶ郷堰と土地改良区」によると「金井小学校前『桜の渡し』跡地  
に先人の遺徳を偲び『八ヶ郷堰之碑』を建立いたしました。」との思いが語  
られている。

「八ヶ郷堰」は400年の歴史を刻み続け、これまでの人々の苦労と工夫が認められ、  
2023年山形五堰の一つとして「世界かんがい施設遺産」に登録された。

\* 「かんがい施設」・・・ た はたけ さくもつ そだ  
田や畑の作物を育てるために必要な水を引く目的で造られた用水路のこと

### 3. 「児童用年表」について

その1

ちいきがっこうきょうどうかつどう  
地域学校協働活動

さくら わた はっかごうぜき ねんびょう こ がくしゅう  
「桜の渡し」と「八ヶ郷堰」の年表 (ほなみっ子学習)

さくせい しばた せいじ  
2025.作成：柴田誠司

せいれき 西暦	われき 和暦	にほんし 日本史	かなか 金井地区の出来事	しゅってん 出典
きげんぜん 紀元前		じょうもんじだい 縄文時代	じょうもんじだい かない さと まみが さき がわ はんらんげん いち まみが さき がわ おううさんみやく 縄文時代、金井の里は馬見ヶ崎川の氾濫原に位置していた。馬見ヶ崎川は奥羽山脈の ざおう さん がんど さん ささや とうげ みなもどはつ やまがたほんち なが い こうだい せんじょううち けいせい 蔵王山・雁戸山・笹谷峠などに源を発し、山形盆地に流れ入ると広大な扇状地を形成 かないちく ほんりゅう すかわ そそ して、金井地区を奔流し須川に注いでいた。	かない れきし 「金井の歴史」より
1083	えいはう みずのといどし 永保3癸亥年	へいあんじだい 平安時代	まみがさき めいしう しょせつ 「馬見ヶ崎」の名称が生まれる。*諸説あり	はっかごうぜき とちかいりょうく 「八ヶ郷堰と土地改良区」より
1603	けいちょう ねん 慶長8年	え ど じだい 江戸時代	もがみ よしあき まんごく まんごく りょうち ふ かない もがみけ りょうち 最上義光は24万石から57万石に領地が増えた。金井は最上家の領地であった。	かない れきし 「金井の歴史」より
			もがみ じだい まみが さき がわ さん まるほり そば なが 最上時代、馬見ヶ崎川は三の丸濠の側を流れていた。	やまがたし べっさつせいかつぶんか へん 山形市史別冊生活文化編より
			いま こうもんふきん まみがさきがわ わた ぶね さくら わた い (今の校門付近には)馬見ヶ崎川の渡し舟があり、「桜の渡し」と言っていた。	しりょうかない きょうとけんきゅうかいしせきめぐ 資料金井郷土研究会史跡巡りより
1622	げんな ねん 元和8年		もがみ やまがたさん かいえき 最上山形藩の改易。	やまがたし 山形市史
1623	げんな ねん 元和9年		とりい ただまさ いわき やまがたじょうしゅ いふう 鳥居忠政が岩城から山形城主として移封される。	やまがたし 山形市史
1624	かんえい がんねん 寛永元年		まみがさきがわ だいこうずい いつかかん おおあめ おお ひがい 馬見ヶ崎川の大洪水。(5日間の大雨で大きな被害)	やまがたし 山形市史
			とりいだまさ こうずい しろ ほり まも まみがさき がわ りゅうろへんこうじ ちゃくしゅ 鳥居忠政は洪水からお城の濠を守るため、馬見ヶ崎川の流路変更工事に着手した。	やまがたし 山形市史
1636	かんえい ねん 寛永13年		きゅううまみがさき がわ なが りよう はっかごうぜき やまがたご せき たんじょう 旧馬見ヶ崎川の流れを利用して、八ヶ郷堰をつくる。(山形五堰の誕生)	はっかごうぜき とちかいりょうく 「八ヶ郷堰と土地改良区」より
			え またぬま じんばぬま ちくぞうかいし ねん かんりょう 江保沼・陣場沼の築造開始。(12~13年かけて完了)	はっかごうぜき とちかいりょうく 「八ヶ郷堰と土地改良区」より

1893	めいじ ねん 明治26年	めいじ じだい 明治時代	まみがさき がわ ぶんすいす ご せき はいしわりおい けんちょう ていしゅつ 「馬見ヶ崎川分水図」(五堰への配水割合)が県庁などに提出される。	はっかごうぜき どちかいりょうく 「八ヶ郷堰と土地改良区」より
1957	しょうわ ねん 昭和32年		はっかごうぜき どち かいりょうく ほっそく 八ヶ郷堰土地改良区の発足。	はっかごうぜき どちかいりょうく 「八ヶ郷堰と土地改良区」より
1966	しょうわ ねん 昭和41年		えまたぬま じんばぬま うめたて せいび はじ 江俣沼・陣場沼の埋立と整備が始まる。	はっかごうぜき どちかいりょうく 「八ヶ郷堰と土地改良区」より
1976	しょうわ ねん 昭和51年	しょうわじだい 昭和時代	えまたぬま じんば ねまあとち せきひ た 「江俣沼・陣場沼跡地」の石碑が建てられる。	せきひ もじ 石碑文字より
1977	しょうわ ねん 昭和52年		かないしょ えうもんえ せきひ さくら わた かんばん せっし 金井小校門前に史跡「桜の渡し」看板が設置される。	かないしょ がくゆうかい 金井小PTA・学友会
1988	しょうわ ねん 昭和63年		じんば よしのじゅく ちくない はっかごう ぜきほんせき ふたか こうじ じっし へいせい ねんどかんせい 陣場から吉野宿地区内八ヶ郷堰本堰の蓋掛け工事を実施(平成4年度完成)	はっかごうぜき どちかいりょうく 「八ヶ郷堰と土地改良区」より
1993	へいせい ねん 平成5年	へいせいじだい 平成時代	さくら わた あとち せんじん いとく しの はっか ごうぜきの ひ こんりゅう 「桜の渡し」跡地に先人の遺徳を偲び『八ヶ郷堰之碑』を建立する。	はっかごうぜき どちかいりょうく 「八ヶ郷堰と土地改良区」より
1994	へいせい ねん 平成6年		はっかごうぜき どち かいりょうく もがみがわちゅうりゅう とちかいりょうく がっぺい ねん れきし まく お 八ヶ郷堰土地改良区が最上川中流土地改良区に合併し36年の歴史に幕を降ろす。	はっかごうぜき どちかいりょうく 「八ヶ郷堰と土地改良区」より
2023	れいわ ねん 令和5年	れいわ じだい 令和時代	やまがた ごせき ひと はっかごうぜき せかい しせつ いさん とうろく 山形五堰の一つとして「八ヶ郷堰」も『世界かんがい施設遺産』に登録される。	やまがたし のうそんせいびか しりょう 山形市農村整備課資料より



陣場踏切付近  
・八ヶ郷堰の堰筋  
(中部・追散水係)

## 4. 「写真」について

- ① 須川へ合流する用水：八ヶ郷堰の用水は、金井地区では鮎洗で須川へと合流



- ② 大規模化スマート化する米作り：令和6年に撮影した元PTA会長 安達良一さんの



田植えの様子 (吉野宿方面)

③ 八ヶ郷の碑：八ヶ郷堰の歴史を後世に伝える碑は、平成6年最上川中流土地改良区への



がっぺいきねん ふなまち きふねじどうこうえん  
合併記念として船町の貴船児童公園に

こんりゅう  
建立

④ 七つ橋の石碑(陣場新田)：昔、馬見ヶ崎川の支流にかかっていた七つの橋の唄がつくられ、



しんでんなな ばしうたほぞんかい まも  
新田七つ橋唄保存会が守ってきた

⑤ ほなみ水田での田植え：毎年5年生が行う稻作体験学習



・令和6年は雨の中でもがんばった

⑥ 金井小校門前・史跡「桜の渡し」と「八ヶ郷堰之碑」



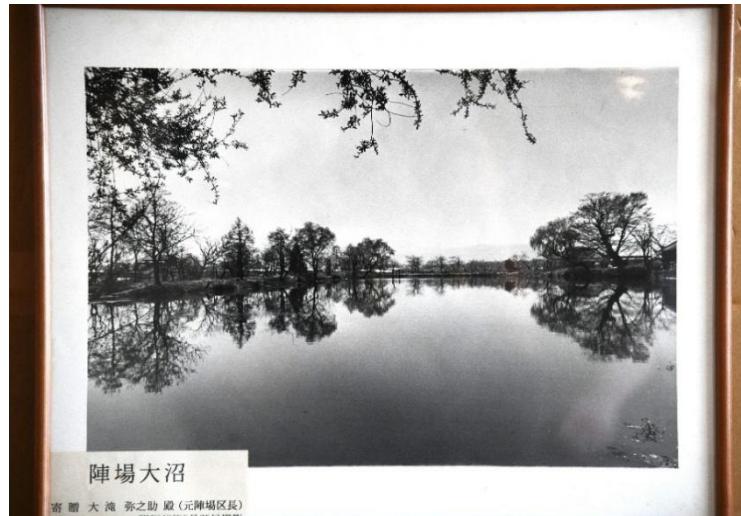
：令和6年の地区探検の様子

⑦ 陣場街道の堰筋：陣場沼近くの八ヶ郷堰は生活用水や池の水にも利用された

・写真は登録文化財の田中邸を望む



⑧ 「陣場大沼」昭和43年の写真：陣場瀬波会館に掲示されている



・溜井として利用されてきたが、後年は魚釣りなどの憩いの  
場所にもなる

・現在は「陣場杉の前児童遊園」や住宅地となっている

⑨ 石碑「江俣沼陣場沼跡」：陣場小沼のあったところ

・昭和51年建立、陣場觀音堂の裏側にたっている



⑩ 江俣沼跡地「南江俣公園」：江俣沼のあったところ



・ひょうたん池が名残をとどめている

・昭和40年代、沼の埋立と整備